

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた  
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 市川市立大野小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒272 -0804  
千葉県市川市南大野 1-42-1

E-mail : \_\_\_\_\_

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 424 名 女子 402 名 合計 826 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

#### 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### 《ハッピーエコプロジェクト》

4学年の社会科には、「ゴミの処理と利用」や「くらしと水」の学習があり、環境について考える。その学習をきっかけとして、自分たちに人に役立つ活動をするにはできないかと学習をスタートさせた。クラス単位の活動である。

#### 活動の概要

「くらしと水」の学習から、まず身近な節水にチャレンジをすることになった。花王株式会社〈いっしょにエコ日記〉の活動に参加させてもらい、送付してもらった資料を活用しながら、子ども達は、おうちでできる節水に2週間チャレンジをした。各家庭での節水結果をクラスで集計し、みんなで節水をするのとたくさん節水できることを実感することができた。

その後、節水の大切さを知ったので、節電にも取り組んでみたいと声があがった。学校の電力使用量のグラフを読み取る活動をしたところ、昨年よりも使用量が増えていることがわかり節電を呼びかけようという活動にも入っていった。自分たちで考えた活動をグループに分かれてそれぞれ取り組み、国語で学習した「ポスターセッション」で活動を伝え合い、クラス以外にも活動を伝えることができた。

#### 成果と課題

(成果)

- 花王株式会社の資料は、子どもが興味を持つように作成されていて、節水した水の量が数字として表れるように設定してあるので2週間楽しんで活動していた。
- 一人ひとりの節水量はわずかではあるが、クラス34人の節水量を計算したときに、「43092L」という数字を見て、子ども達は「こんなに水が節約できるんだ」とみんなで活動することのすごさを感じていた。
- 人の役に立つような活動を考えたグループでの活動では、呼びかけのポスターを作るグループ・節電に気づくように電気のスイッチに工夫するグループ・新聞紙でのリサイクル工作グループなどに分かれ進んで活動することができていた。

(課題)

- △活動を全校に広めたいと考えていたが、時間的な見通しがうまくできず、学年内での活動にとどまってしまった。時間に余裕を持った計画をし、年度初めに見通しをもつことが必要であった。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )